

PowerAddress RT（ランタイムアプリ版）をご利用いただき誠にありがとうございます。
ご利用の前に本書を必ずお読みください。

■目次

1. はじめに
2. 動作環境
3. 使用許諾契約書
4. インストール／アンインストール方法
5. 起動／終了方法
6. 基本的な使い方
7. お問い合わせ先
8. 著作権情報など

最新情報や操作方法については、以下のページを参照してください。

PowerAddress

<http://poweraddress.powershift.jp/>

サポート

<http://poweraddress.powershift.jp/support/>

FAQ（よくある質問と答え）

<http://poweraddress.powershift.jp/faq/>

ヘルプ

<http://poweraddress.powershift.jp/help/>

Powershift（パワーシフト）

info@powershift.ne.jp

<http://poweraddress.powershift.jp/>

Copyright 2000-2011 Powershift. All Rights Reserved.

このファイルのデータベース構造等は、上記デベロッパのみが変更できます。
カスタマイズに関する情報については、上記デベロッパにお問い合わせください。
このデータベースソリューションには、上記デベロッパのみが提供できる
パスワードが含まれています。

1. はじめに

本製品は、個人情報管理データベース「PowerAddress」のランタイムアプリ版です。主な特長は以下のとおりです。

■PowerAddress の主な特長

- ・ パワフルなデータベースエンジン
- ・ シンプルでわかりやすいデザインと操作感
- ・ コピー&ペーストで入れ替え可能な Win/Mac 互換の住所録ファイル
- ・ パスワードによるデータの保護
- ・ 将来の乗り換えにも安心な豊富な対応ファイル
- ・ データの一覧やソートに便利な8種類のリスト形式レイアウト
- ・ 表計算ソフトのシートのような表形式レイアウト
- ・ データの入力に適した3種類のカード形式レイアウト
- ・ 英語圏向けの表記に切り替え可能な住所欄
- ・ 日英混在の住所管理が可能、英語圏向けにコンマや改行を自動挿入
- ・ 郵便番号と住所の相互変換、大口事業所データを含む専用の郵便番号DB
- ・ オートコンプリートによる入力補助機能
- ・ フィールドの索引機能、索引一覧の表示、一覧からの入力
- ・ 表示名が、姓+名、所属、通称、旧姓+名から選択可能
- ・ 姓名、誕生日データの分割機能
- ・ 姓と名の間にある姓名分割ボタンで、入力時の姓名を簡単に分割
- ・ 全角ひらがな、全角カナ、半角カナのふりがなデータを自動生成
- ・ 住所関連データを自動生成、あらゆる住所録フォーマットに再利用可能
- ・ 住所データをもとにした地図検索サイト表示ボタン
- ・ 入力可能なフィールドは80以上、自動生成項目は30以上
- ・ 顔写真などの画像のほか、サウンド収録や任意のファイルの保存が可能
- ・ 項目名を変更できる8つのメモと、スクロール可能な大容量メモ
- ・ 本人や家族の年齢を自動計算、誕生日入力は西暦と元号に対応
- ・ フィールドデータの全置換、最適化、マーク ON/OFF などの一括処理
- ・ フィールド内容の複製、移動、入替、追記が可能
- ・ 姓名の先頭文字から素早く検索できる先頭文字検索機能
- ・ 個々のデータ項目を指定して検索できるカード検索機能
- ・ 全データ項目を対象にして検索できる横断検索機能、曖昧検索にも対応
- ・ ボタン一つで OS 付属のアドレスブックを更新可能 (Mac)
- ・ リストまたはカード形式での名簿印刷、縮小して A5 システム手帳にも
- ・ はがき、長封筒、洋封筒、角封筒への宛名印刷
- ・ A4/レター判ラベルへの宛名印刷、反復印刷や印刷開始位置の指定が可能

- 日英混在の宛名印刷が可能、エアメール対応
- 差出人画像や会社のロゴ画像の印刷が可能
- レコード毎にカスタマイズした電子メールの作成が可能

■前バージョンからの主な改善点、新機能

- データベースエンジンをアップグレード
- 複数ウィンドウでの表示が可能
- メニュータブに [メール] を追加、メールの作成と送信画面を新規作成
- [フィールド内容の複製, 移動, 入替] に [フィールド内容の追記] を追加
- Gmail 連絡先 CSV のエクスポートオプションに [敬称] を追加
- Gmail 連絡先 CSV のエクスポートオプションに [グループ] を追加
- 「カード> Full」と「カード> Memo」画面に整理番号フィールドを追加
- PA_lib 内の label を main ファイルに統合
- PA_lib 内の PA_to_vCard と vCard_to_PA を vCard ファイルに統合
- PowerAddress フォルダ内に「PA_email」フォルダを追加
- 郵便番号データベースを 2011/08/31 版に更新
- その他、いくつかの機能の追加や修正

■試用期間中の制限事項

起動から 30 日間または起動回数 30 回までは一部の制限事項を除き、ほとんどの機能を無料で試すことができます。試用期間中の制限事項は以下のとおりです。

- レコードが 15 件を超過するとデータの編集や追加が制限されます
- エクスポートは、テスト用のサンプルレコードが対象となります
- バックアップファイルの書き出しは出来ません
- 宛名印刷を行うと印刷面に「Sample」という文字が表示されます
- 郵便番号データベースの使用は、ソフトを起動する毎に 5 回までです

■ご購入方法

継続して使用する場合は、ライセンスキーの購入をお願いいたします。本ソフトウェアにライセンスキーを登録すると、試用期間中の機能制限が解除されます。詳しくは以下のページを参照してください。

ご購入方法

<http://poweraddress.powershift.jp/howtobuy/>

■ユーザー登録、登録内容の変更

ご購入いただいた製品を登録することで、アップグレードや製品に関するサポートサービスなど、PowerAddress 正規ユーザーとしての特典が得られます。ユーザー登録の手順はご購入方法により異なります。通常は、ご購入手続きと同時に Rowe れます。

ユーザー登録

<http://www.powershift.ne.jp/PowerAddress/registration/index.html>

メールアドレスの変更、お知らせメールの購読変更、その他、Product ID、住所、TEL、FAX などの申請は、上記ページにある「登録内容の変更」をご利用ください。

■Product ID について

本ソフトウェアを起動すると、製品固有の番号 (Product ID) が自動的に生成されます。ライセンスキー登録の有無に関わらず、一度起動した本ソフトウェアをバックアップ目的以外に複製及び配布しないでください。この番号は、アップグレードやお問い合わせの際などに必要となる場合があります。ライセンスキーとともに大切にお取り扱いください。

■データの移行について

ランタイム版 v4.5 ~ v4.7 間での手軽な移行

PowerAddress フォルダ内の住所録ファイル (data.pa7) は、前バージョンのものと互換性があります。このファイルをコピー&ペースト（上書き）すれば、住所録データを簡単に移行することができます。以下は、住所録ファイルを入れ替える例です。FileMaker 版の住所録ファイルは使えません。

1. 移行元と移行先の PowerAddress が終了していることを確認
2. 移行元の住所録ファイル (data.pa7) をコピー
3. 移行先の PowerAddress フォルダ内にペースト（上書き）
4. 必要に応じて設定値の内容を移行 ※1
5. 必要に応じてポップアップメニューの内容を移行 ※2

エクスポートしたファイルを使った移行、FileMaker 版からの移行

バックアップファイルか任意の形式でエクスポートしたファイルを使う方法です。FileMaker 版から移行する場合はこの方法をご利用ください。以下は、バックアップ機能を使って全データを移行する例です。任意のデータを移行したい場合は、エクスポート機能をご利用ください。

1. 移行元の設定画面にある「住所録をバックアップ...」をクリック
2. [Text, Img] をクリックし、バックアップファイルを作成 ※3
3. 移行先の設定画面にあるバックアップの「インポート...」をクリック
4. ファイルタイプを「FileMaker Pro」にし、バックアップファイルを指定
5. 配置順を「照合名順」にし、新規レコードとしてインポート
6. 必要に応じて設定値の内容を移行 ※1
7. 必要に応じてポップアップメニューの内容を移行 ※2

※1、設定値について

まず、移行元の設定画面にある「設定値をバックアップ...」をクリックします。次に、書き出した設定値ファイル (Preferences) をコピーし、移行先の PowerAddress フォルダ内にペースト（上書き）します。ファイル名は変更しないでください。最後に、移行先の設定画面にある設定値の「インポート...」をクリックします。

※2、ポップアップメニューの内容について

カテゴリ、メモ1~8の項目名、メモ5~8のメモ内容、フォント一覧などを変更している場合は、それらをコピー&ペーストして移行する必要があります。まず、該当するメニューの一覧から「編集...」を選択し、メニューウインドウの内容をすべて選択してコピーします。次に、同じような操作で移行先のメニューの一覧を開き、先ほどのメニューウインドウの内容をペーストします。

※3、バックアップファイルの保存場所について

PowerAddress フォルダ内の export または PA_backup というフォルダに保存されます。ファイル名は backup_text_img.fp7 です。

2. 動作環境

本ソフトウェアをインストールして使用するには、最低限、以下の動作環境が必要です。より新しい Windows や Mac OS X の環境に移行した際は、問題なく動作する場合がありますし、一部またはすべてが動作しない場合もあります。最新の情報は PowerAddress のホームページを参照してください。

■PowerAddress RT 4.7 for Windows の必要最低条件

2011年9月12日現在、Windows XP、Windows Vista、Windows 7 で動作することを確認しております。以下は、本ソフトのデータベースエンジン (FileMaker Pro 11) の必要最低条件の抜粋です。ご参考まで。

Windows 7

- CPU: 1 GHz 以上
- RAM: 1 GB、2 GB 以上を推奨

Windows Vista

- CPU: 1 GHz 以上
- RAM: 1 GB、2 GB 以上を推奨

Windows XP

- CPU: Pentium III 700 MHz 以上
- RAM: 256 MB、2 GB 以上を推奨

■PowerAddress RT 4.7 for Mac OS X の必要最低条件

2011年9月12日現在、Snow Leopard、Lion で動作することを確認しております。以下は、本ソフトのデータベースエンジン (FileMaker Pro 11) の必要最低条件の抜粋です。ご参考まで。

Mac OS X 10.6

- CPU: Intel プロセッサ
- RAM: 1 GB、2 GB 以上を推奨

Mac OS X 10.5.7

- CPU: PowerPC G4 (867MHz 以上)、Power PC G5、Intel プロセッサ
- RAM: 512 MB、2 GB 以上を推奨

3. 使用許諾契約書

本ソフトウェアをご使用になる前に、本使用許諾契約書（以下、ライセンスと
いいます）をよくお読みになって下さい。本ソフトウェアを使用したことによ
り、ライセンスならびにその内容に同意したことになります。

本ソフトウェアとは、ソフトウェア本体および関連書類、別途購入可能なライ
センスキーを含みます。

もし、ライセンスならびにその内容に同意することができない場合、本ソフト
ウェアを消去していただきますようお願いいたします。

本ライセンスは、本ソフトウェアのすべてあるいはその一部分のコピーを、1
部または購入したライセンス数の範囲内で使用できる非独占的権利を許諾する
ものであり、お客様に対して本ソフトウェアそのものを販売するものではありません。

お客様は、本ソフトウェアを一台または購入したライセンス数と同じ台数分の
コンピュータで使用する権利を有します。複数の方が使用する環境では、コン
ピュータの台数分または使用する人数分のライセンスが必要です。

お客様は、ライセンスキー登録の有無に関わらず、本ソフトウェアをリバース
エンジニア、逆コンパイルまたは逆アセンブルしてはなりません。その他の方
法で本ソフトウェアを人間が理解できる形式に変えたり解析してはなりません。

お客様は、本ソフトウェアをバックアップ目的以外で複製したり、修正、変換、
改造、翻訳、レンタル、リース、貸与してはなりません。また、お客様は、本
ソフトウェアもしくはその一部に基づく派生的な著作物（二次的著作物）を作
成してはなりません。ライセンスキーについても、第三者への開示、レンタル、
リース、貸与してはなりません。

お客様にライセンスされたソフトウェアは、いくつかの管理用パスワード
（ユーザパスワードとは異なります）により保護されています。お客様はその
パスワードを追加、削除したり、変更する権限がなく、パワーシフトのみがそ
れらのパスワードの追加、削除、または変更する権限を有します。

お客様は、事前にパワーシフトによる承諾を得ずに、本ライセンスのもとでの
お客様の権利を第三者に移転したり譲渡することはできません。

お客様は、法律により認可される場合を除いて、本ソフトウェアを使用、輸出、
再輸出してはなりません。

本ソフトウェアおよび関連書類は、単純にそのままの形態で提供されるもので
す。パワーシフトは、明示的であれ暗示的であれ、このソフトウェアの使用に
関し、一切の保証をするものではなく、特定の目的に対してその市場性や適応
性を保証するものでもありません。また、いかなる状況においても、このソフ

トウェアを使用することによって万が一生じた損害に対し、何ら責任を負うものではありません。

この許諾契約書の如何なる部分にも抵触した場合には、本ソフトウェアを使用する権利は自動的に消滅し、本ソフトウェアに関する全てのファイルを削除しなければなりません。たとえあとで譲渡されようとも、本ライセンス契約に定められる制限の対象となります。

本ソフトウェアはパワーシフト（ある部分については、FileMaker, Inc.）が著作権を含むすべての権利を保有しています。

4. インストール／アンインストール方法

本製品をダウンロードして展開（解凍）すると「PowerAddress RT」フォルダが現れます。利用形態に応じ、このフォルダを任意の場所へ移動するか、フォルダ内のファイルを所定の場所へ移動します。

■インストール方法

ダウンロードしたファイルを展開（解凍とも言います）すると PowerAddress フォルダが現れます。必要であれば、このフォルダを任意の場所へ移動してください。

■アンインストール方法

PowerAddress フォルダを削除してください。

■環境設定ファイル（Windows）

レジストリ設定は次の場所に保存されます。
HKEY_CURRENT_USER¥Software¥FileMaker¥PowerAddress¥11.0
拡張子（pa7）は HKEY_CLASSES_ROOT に登録されます。

■環境設定ファイル（Mac OS X）

「~/Library/Preferences」フォルダ内の
「com.filemaker.client.runtime.PowerAddress.plist」ファイルに保存されます。

5. 起動／終了方法

■起動

PowerAddress フォルダ内の「PowerAddress」アイコンをダブルクリックしてください。

■終了 (Windows)

メニュータブの「Quit」をクリックするか、ファイルメニューから「終了」を選択してください。

■終了 (Mac OS X)

メニュータブの「Quit」をクリックするか、PowerAddress メニューから「PowerAddress を終了」を選択してください。

6. 基本的な使い方

PowerAddress の基本的な操作方法についてご説明します。
操作方法の詳細については、以下のページを参照してください。

ヘルプ

<http://poweraddress.powershift.jp/help/>

レイアウトの切り替え

アプリケーションウィンドウ内のメニュータブをクリックしてください。いくつかのレイアウト内には、表示項目を切り替えるためのサブメニューやボタンがあります。PowerAddress の主なレイアウトは以下のとおりです。

■リストまたは表

対象レコードをリスト形式または表形式で表示するレイアウトです。あらかじめ表示項目を分類した8種類のリストと、表計算ソフトのように個々のデータ項目を編集することができる一覧表があります。

■カード

レコードをカード形式で表示するレイアウトです。詳しい情報の入力及び表示用に3種類のカード形式レイアウトと、印刷内容をプレビューしながらデータの入力及び編集ができる印刷向けのカード形式レイアウトがあります。

■検索

レコード内のフィールドを横断検索するレイアウトと、3種類のカードに対応した検索レイアウトがあります。

■インポート

指定されたファイルまたはデータソースからレコードをインポート（取り込み）するレイアウトです。

■エクスポート

指定されたファイルにレコードをエクスポート（書き出し）するレイアウトで

す。Mac では、アドレスブックの更新ボタンが有効になります。

■印刷

リスト印刷、カード印刷、はがき、封筒、ラベルへの宛名印刷を行うレイアウトです。印刷対象の用紙をクリックする前の「印刷一覧レイアウト」と、印刷対象の用紙をクリックした後の「印刷詳細レイアウト」の2構成になっています。前者はプレビューなしの一覧レイアウト。後者は実サイズのプレビューと、印刷内容を確認するためのフィールドが配置されています。

■メール

電子メールを作成し、メールソフト経由での送信を行うレイアウトです。複数の宛先を指定できるのはもちろん、メールの件名や本文に任意のフィールドを差し込み、レコード毎にカスタマイズした電子メールの作成が可能です。

■設定

PowerAddress の諸設定を行うレイアウトです。

レコードの基本操作について

レコードの新規追加、複製、削除、除外、カード検索、対象レコードの入れ替え、全レコードの表示などの基本操作は、リスト／カード／印刷レイアウト上にあるボタンをクリックします。

■新規

レコードを新規追加します。

■複製

現在のレコードを複製します。

■検索

カード検索を行います。最後に開いたカード画面が Simple なら、Simple 用のカード検索レイアウトが、Full なら Full 用のカード検索レイアウトが、Memo なら Memo 用のカード検索レイアウトが開きます。

■削除...

現在のレコードを削除します。対象レコードを全て削除することもできます。

■対象外...

指定したレコードを対象レコードから除外します。複数のレコードを除外することもできます。複数のレコードを除外する際は、現在のレコードを起点に除外数を指定します。現在のレコード以降の全てを除外したい場合は、適当な大きな数字（1000件の対象レコードがある場合は9999など）を指定すると有効数を割り出し除外します。

■対象入替

対象レコードと対象レコード以外のレコードを入れ替えます。

■全て表示

全てのレコードを表示します。対象レコードは全レコードとなります。

データの入力

入力したいフィールドをクリックすると入力可能状態になります。Tab キーや return キーを押すと、次のフィールドが入力可能状態となります。

データの確定について

フィールドに入力された値は、データが確定された後に自動的に保存されます。データは、次の何れかの操作を行った時点で確定されます。

- 他のレコードを選択する
 - 現在のフィールド以外の場所をクリックする
 - Windows の場合、テンキーの Enter、または Ctrl+Enter を押す
 - Mac の場合、enter キーを押す
-

住所の入力について

住所欄は、郵便番号、都道府県、市区町村、町域、番地、建物名の6つに分かれています。必ずしもこの分割方法を強要するものではありませんが、分割して入力しておけば、以下のような住所データが自動的に生成されます。

- 郵便番号～建物名の連結データ
- 都道府県～建物名の連結データ
- 都道府県～番地の連結データ（2分割向け）
- 市区町村～町域の連結データ（3分割または4分割向け）
- 町域～建物名の連結データ（3分割向け）
- 町域～番地の連結データ（4分割向け）
- 番地～建物名等の連結データ（3分割または4分割向け）

これらのデータは、郵便番号、都道府県、市区町村、町域、番地、建物名とともに、自由に組み合わせてエクスポートすることができます。これにより、一度入力した住所データを任意の形式で再利用することが可能です。

住所の分割数や表示方法が異なるファイル形式（vCard、Windows アドレス帳 CSV、Yahoo!アドレスブック CSV、Google Gmail 連絡先 CSV）にエクスポートする際は、対応する項目が自動的に割り当てられません。住所の分割数を意識したり、エクスポート後に別途編集する必要はありません。

住所を分割して管理しておくことで、新たな手間やコストをかけずに、データの再利用やフォーマット変換が行えます。住所を1つか2つの欄を使って管理することもできますが、分割されていない住所を編集するのは大変な作業です。

郵便番号データベースについて

カードまたは印刷画面に配置している「所属」ラベルと住所欄の「〒」マークは、郵便番号データベースの起動ボタンとして機能します。

郵便番号データベースを起動すると、対応したフィールドの内容で郵便番号データベースを検索し、候補がある場合はそのリストを表示します。

候補の中から転載データに対応したボタン（〒、住所、事業所名、全て）をクリックすると、該当するフィールドへデータが転載されます。

検索について

姓名の先頭文字で検索する「クイック検索」、データ項目を指定して検索する「カード検索」、複数のデータ項目を横断的に検索する「横断検索」の3種類の検索方法があります。

■クイック検索

姓名の先頭文字や、マークの有無、英住所の検索及び除外などを素早く検索できます。姓名の先頭文字から検索する場合は、あらかじめ姓名のふりがなが設定されている必要があります。

クイック検索を行うには、リストや印刷詳細レイアウトの画面上部にある「あ」、「か」、「さ」などのボタンをクリックします。

■カード検索

データ項目を指定して検索します。リスト、カード、インポート、エクスポート、印刷レイアウトにある「検索」ボタンをクリックするか、検索レイアウトのサブメニュー（Simple、Full、Memo）から移行すると、カード検索レイアウトが表示されます。検索対象のフィールドにキーワードを入力し、enter キーか「検索実行」ボタンをクリックします。

■横断検索

複数のデータ項目を横断的に検索します。検索レイアウトのサブメニューから「横断検索」を選び、検索したいキーワードを入力すると、すべてのフィールドを対象に検索が行われます。

印刷について

リスト印刷、カード印刷、はがき、長封筒、洋封筒、ラベルへの宛名印刷が行えます。印刷したい用紙をクリックする前の「一覧レイアウト」と、用紙をクリックした後の「詳細レイアウト」の2構成になっています。「詳細レイアウト」は、実サイズのプレビュー画面と印刷内容を確認するためのフィールドが配置されています。

現在のレコードを1件だけ印刷する場合は、スクリプトメニューから「現在のレコードのみ表示」などを実行してあらかじめ対象レコードを1件にするか、プリントダイアログで「現在のレコード」を指定します。

対象レコードを一括して印刷する場合は、プリントダイアログで「対象レコード」を指定します。

ラベル印刷時は、印刷前に表示されるレイアウトで「現在のレコード」、「対

象レコード」、「現在のレコードを繰り返し印刷」の中から選択して印刷します。

電子メールの作成と送信について

メール画面を使うと、メールソフト経由でのメール送信が簡単に行えます。メールソフトの挙動設定で「ダイアログなしで実行」を OFF にしておけば、メールを送信する前に内容を確認することができます。より複雑な処理は、[ファイル]メニューにある [メール...] コマンド (FileMaker 版のみ) をご利用ください。

レコードの状態表示

リスト／カード／印刷レイアウトの画面右上には、レコードの状態を示す情報が表示されています。

■番号

対象レコードの中で、現在のレコードが何番目にあるかを表示します。対象レコードをソートすると番号も変わります。

■対象

対象レコードの数を表示します。

■総数

全レコードの数を表示します。

■順序

対象レコードのソート状態を表示します。ソート名の前の記号「▲」は昇順、「▼」は降順を表しています。ソート後、レコードが新規追加または複製され、対象レコードが部分的にソートされているときは「△」や「▽」となります。

メニューコマンドについて

メニューコマンドは、モードの違いやフィールド選択状態などにより、使用できる項目が変わります。

モードについて

PowerAddress には、ブラウズモード、検索モードの2つの状態があります。データの入力や閲覧など、ほとんどの操作はブラウズモードで行います。

検索を行なうときだけ検索モードに切り替わり、検索条件の入力待ちとなります。検索が終わると自動的にブラウズモードに切り替わります。

モードの違いにより、使用できるメニューコマンドが変わります。

7. お問い合わせ先

製品に関するお問い合わせは、メールにてお受けいたします。最新情報やライセンスキーのご購入方法については、以下のページを参照してください。

PowerAddress

<http://poweraddress.powershift.jp/>

ご購入方法

<http://poweraddress.powershift.jp/howtobuy/>

■ご購入前のお問い合わせ先

Powershift（パワーシフト）受付

メール：info@powershift.ne.jp

お問い合わせフォーム

<http://poweraddress.powershift.jp/contact/>

■ご購入後のお問い合わせ先

Powershift（パワーシフト）サポート

メール：support@powershift.ne.jp

お問い合わせフォーム

<http://poweraddress.powershift.jp/contact/>

■緊急時のお問い合わせ先

原則、メールでのサポートとなります。

Powershift（パワーシフト）

運営責任者：山本 泰弘

メール：yasuhiro@powershift.ne.jp

TEL：042-525-5991 山本@Powershift

万が一、お客様のメールに対する返事がない場合や、返事が遅いと感じた場合は大変お手数ではございますが、下記メールアドレスにもお問い合わせください。また、お客様のメールフォルダや迷惑メールフォルダ、メールソフトの設定なども再確認していただければ幸いです。

Powershift（パワーシフト）

メール：powershift@nifty.com

8. 著作権情報など

PowerAddress

Powershift (パワーシフト)

info@powershift.ne.jp

<http://poweraddress.powershift.jp/>

<http://www.powershift.ne.jp/PowerAddress/>

Copyright 2000–2011 Powershift. All Rights Reserved.

このファイルのデータベース構造等は、上記デベロッパのみが変更できます。カスタマイズに関する情報については、上記デベロッパにお問い合わせください。このデータベースソリューションには、上記デベロッパのみが提供できるパスワードが含まれています。

Portions of this software are Copyright 1984–2011 by FileMaker, Inc. All rights reserved.

FileMaker 及びファイルメーカーは、FileMaker, Inc. の登録商標です。その他記載された会社名及びロゴ、製品名などは該当する各社の商標または登録商標です。また、製品及びサンプルファイルなどに登場する会社名、氏名、住所電話番号などのデータは架空のもので、実在する企業、人物等には一切関係ありません。